

『さよなら、消費社会——カルチャー・ジャマーの挑戦』発売

(発行元:大月書店 発売予定日:2006年6月20日 本体価格:2,200円 ISBN 4-272-33046-2)

大月書店(東京・文京区)は、『さよなら、消費社会——カルチャー・ジャマーの挑戦』を発売いたします。同書のバックグラウンド情報は以下の通りです。

過激なビジュアルを多用し、さまざまなソーシャル・マーケティング・キャンペーンを発信するアドバスターズ・メディア財団(カナダ・米国)(<http://www.adbusters.org/>)。彼らの生み出すムーブメントは「カルチャー・ジャミング」(消費文化の創造的破壊)として世界に伝播しています。

その活動は、日本でも「無買デー」「100万人のキャンドルナイト」などに影響を与えているところ。また、メッセージ性の高い作品には、国内でも一部のクリエイターたちの間に(隠れた)ファンが存在しています。

本書は、同財団の創始者、カレ・ラスン(Kalle Lasn)氏の著作、『Culture Jam』を邦訳したものです。同氏の著作を翻訳したものとしては本邦初となります。



ひとびとにカネを使わせようと刺激しつづけなければならないカルチャーは「一流」とも「クール」ともかけ離れている。いや、はっきりいってダサイ。ブランドや誇大宣伝にそそのかされ、消費に走るようなやつらは(自分じゃクールだと思っているだろうが)最悪の連中だ。
——本書より

『Culture Jam』はオランダ、イタリア、ドイツ、トルコ、韓国、エストニア、イスラエルで翻訳されています。同著者の第二弾、『Design Anarchy』も日本での出版が計画されています。

地球と人類の未来を憂える彼らが、消費社会に叩きつける挑戦状。巨大消費国家である日本において、どのような広がりを見せるのか。ご注目ください。

Kalle Lasn関連情報

"消費主義のバブルを壊せ。抵抗をデザインするカルチャー・ジャム" 『SOTOKOTO』(2006年4月号p.98)

"カレ・ラスンとのインタビュー カルチャー・ジャマー入門"

http://www.bndjapan.org/japanese2/heart_and_mind/interviewwithkallelasn.html

類書

『浪費するアメリカ人』(岩波書店) ジュリエット・B・ショア著

『ブランドなんか、いらない』(はまの出版) ナオミ・クライン著

『ザ・コーポレーション』(早川書房) ジョエル・ベイカン著

大月書店

〒113-0033 東京都文京区本郷 2-11-9

<http://www.otsukishoten.co.jp/>

info@otsukishoten.co.jp

加藤あきら(翻訳家)

nbf00514@nifty.com



雑誌『ADBUSTERS』の表紙より; 同誌は「反消費主義」の旗手として、発行部数12万部を誇っている。